


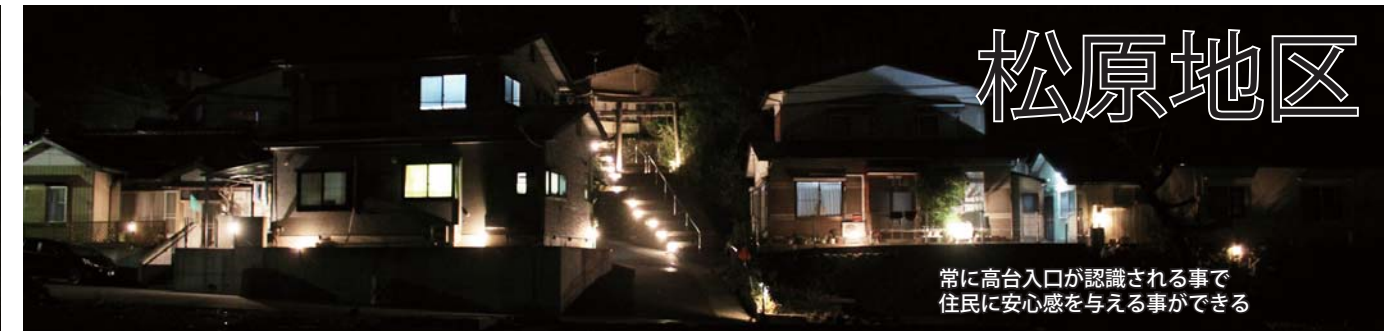


観音寺周辺

高台避難のための照明計画
(岩手県釜石市)

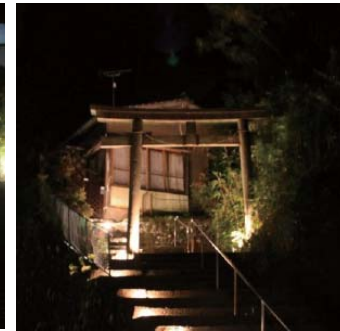
東日本大震災津波被害を受けた地域を中心として、高台にも高台入口を示し、避難を促す照明環境の整備計画と照明実験を行っている。地域の歴史や文化などを配慮して一体的な計画とすることで、景観などより地域住民の避難口への意識向上(減災)を目指す。

-  誘導照明
避難誘導なども含む
行く先々を示す照明
-  ライトアップ
場所の認知を助ける
ライトアップによるサイン照明
-  オペレーション
時間帯による防犯性の
変化に対応した照明
非常時にも対応



松原地区

常に高台入口が認識される事で
住民に安心感を与える事ができる



日中の風景



歴史的財産でもある
神社、寺が可視化されることによって
その地域の特徴が強調される



周辺環境の認知も
高台避難の重要な要素となる



日中の風景



津波で生き残った松林は
根岸海岸の景観的要素であり
道路照明は小さなLEDの光で
連続的に計画する
この事により、
道路性能と景観の両立ができる

根岸海岸



高台入口の周辺建物も
場所を認知する要素となる



現状の入口
認知度が低い



日中の風景



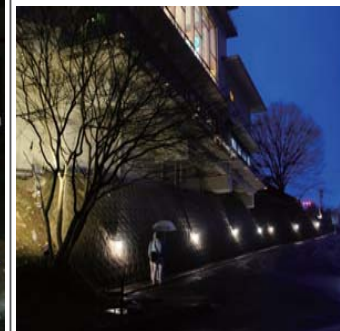
仙寿院周辺

釜石の東部地区全体の安心感を得るために、
既存の寺のアプローチを演出する



白鳥ヶ浜周辺

高台避難のための照明計画
(宮城県松島市)



かまいし照明社会実験

高台避難誘導効果を促進する
夜間の光環境整備の提言

夜の風景が地区を再生し
住民に安心感を与える

かまいし夢あかりプロジェクト
照明社会実験フェーズ-1
2011.10.25実施

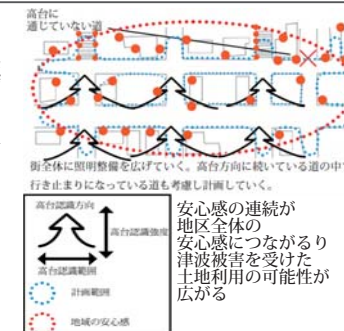
地域の高台避難方向を夜間においても認識させることは、地域の安心を確保する上で重要になります。特徴的な地形(坂、階段など)を可視化し、地域のモニュメント(神社お寺などの鳥居、記念碑など)を目立たせることで、高台としての認識を向上させます。この整備は地元の方のみならず、通常時にこの付近を利用、通過する人々にも安心を与えることにもなります。また非常時(停電時)における特別な対応も必要に応じて追加することも重要です。



高台入口と街路をつなぎ安心感を高める

かまいし光環境整備方針

- 地域の性能に合わせた光環境
地区の防犯に対する意識に対応した照明照度基準からその地域の性能に合わせた計画をします。
- 避難誘導に特化した光環境
津波被害を考慮した夜間の安全性、誘導性の確保
- 釜石の各地区の地形的特徴から
津波避難を考慮した環境整備を進めます。
- 可変可能型防犯灯
・街路灯
- 将来的に可変する町に対応する
- かまいしらしさを増幅させる光環境
- 釜石の自然環境、人の暮らしを可視化させる為の照明



高台に
通じていない道
不安感の連続が
地区全体の
安心感につながり
津波被害を受けた
土地利用の可能性が
広がる



周辺環境の強調
高台へ続く
高台入口を示す
危険予測の交差点照明
観音寺計画 A案



フェイズ2の照明実験
2012.12



釜石一丁の商店街の照明計画
温かい雰囲気を作り出した